



(写真) @ConVzlaComando “MCM氏 エドムンド・ゴンサレス候補の大統領選当選を宣言”

大統領選 不正選挙疑惑

株式会社ベネインベストメント
松浦 健太郎

7月28日夜 選挙管理委員会 (CNE) は、マドゥロ大統領の再選を発表した。

基本的にこの発表をもって2025～31年の大統領が決まったことになるが、大統領選はサドンデス(延長戦)にもつれ込んでいる印象だ。

野党陣営は CNE が票操作を行ったと指摘。野党陣営の集計ではゴンサレス候補が圧勝していると主張。選挙結果を認めない方針を示している。本稿では、野党の主張する票操作に関する主張と今後の見通しについて考察したい。

CNE マドゥロ大統領の当選を発表

7月28日夜 「選挙管理委員会 (CNE)」は、大統領選の第1速報を発表。

与党「ベネズエラ社会主義統一党 (PSUV)」のニコラス・マドゥロ大統領の得票数が5,150,092票(51.2%)、「野党統一連合 (MUD)」のエドムンド・ゴンサレス候補の得票数が4,445,978票(44.2%)で、ニコラス・マドゥロ大統領が再選したと発表した。

マドゥロ大統領は「民意を受け止め、大統領として国家に尽くす」「この決定は不可逆」と勝利を宣言。

翌7月29日にCNEはマドゥロ大統領の当選式を実施した。原則として、この当選式をもってマドゥロ大統領の3期目(2025年1月10日~31年1月9日)続投が確定したことになる。



(写真) 国営放送局 (VTV)

MCM ゴンサレス候補の圧勝を宣言

マドゥロ大統領は「この決定は不可逆」と主張しているが、異議を唱える動きが国内外で起きている。

CNEが大統領選の結果を発表してから1時間ほどが経過し、マリア・コリナ・マチャド氏(MCM)およびエドムンド・ゴンサレス候補は記者会見を実施。

記者会見でのMCM氏の最初の言葉は「ベネズエラに新しい大統領が誕生した。その大統領の名前はエドムンド・ゴンサレス氏である」。

つまり、今回のCNEの発表を真っ向から否定する姿勢を示した。

MCM氏・ゴンサレス候補は支持者らに抗議行動を呼びかけており、すでにアラグア州で死者1名が確認されている。今後野党支持者と軍部の衝突が過熱する懸念が高まっている。

CNE 投票結果詳細の公表に遅れ

MCM氏・ゴンサレス候補の主張は一定の説得力をもって報じられている。

CNEの発表に疑念を抱かせる要因を「CNEの対応」と「野党側の主張」の2つに分けて説明したい。

CNEの対応の問題点は、投票結果の詳細の公表が遅れていることである。

CNEの発表は、1次速報の時点で通常よりも遅れていた。

ベネズエラの投票は電子集計であり、通常であれば速報の発表は現地時間の夜11時前後のことが多い。

しかし、今回の大統領選結果の発表は日をまたいだ12時15分頃だった。

この発表の遅れが票操作の疑念を抱かせる材料の1つとなっている。

また、CNEは7月30日の時点で大統領選の投票結果詳細(各投票場の投票記録)を公開していない。

過去に行われた大統領選では選挙翌日には各州・各市・各投票会場の投票記録がCNEのウェブサイト上に公開されていた。今回の大統領選の選挙結果詳細の遅れはイレギュラーである。

CNEのアモロソ代表は、投票結果公表の遅れについて、一次速報の時点で「CNEの集計伝達システムがサイバー攻撃を受けたため」と説明していた([「ベネズエラ・トゥデイ No.1095」](#))。

また、結果を発表した翌日の7月29日 サアブ検事総長は「CNE の投票データ伝達システムへのハッキングは南マケドニアが起点となっている」と説明。

MCM 氏・レオポルド・ロペス氏 (大衆意思党 (VP) 党首)、レスター・トレド氏 (VP 党员) の関与を指摘した。ただし、現時点でこの説明を裏付けるような証拠は提示されていない。

なお、この記事執筆している時点 (日本時間の7月31日午前8時) で CNE のウェブサイトはダウンしており、現時点で CNE がウェブサイトで大統領選の投票結果の詳細を公開しているのかは確認できていない。

つまり、与党側としては、

「CNE の投票結果詳細の公表が遅れている理由は、CNE へのサイバー攻撃が理由であり、このサイバー攻撃は選挙の信頼性を失わせるために野党側が画策したもの」との認識を示している。

仮に与党側の主張が事実だとすれば、「選挙の信頼性を失わせる」という野党側の試みは見事に成功していると言えそうだ。

CNE のアモロソ代表は「投票結果は CNE のウェブサイトで開催する」と述べており、最終的には結果の詳細が公表されると思われるが、どこまで詳細な情報が公表されるかは注目点の1つと言える。

野党 独自の集計結果を公表

大統領選の翌日7月29日午後6時 MCM 氏とゴンサレス候補は記者会見を実施した。

MCM 氏は

「投票記録73.5%まで集計することに成功した」
「その結果、ゴンサレス候補の当選が確定した」

「全ての州・全ての地域でゴンサレス候補の得票数がマドゥロの得票数を上回っており、未集計の投票記録の全てがマドゥロだったとしてもゴンサレス候補の当選は確定している」

「近いうちに投票記録を確認するためのウェブサイトを公開する」と説明した。

なお、記者会見後、MCM 氏はウェブサイトを開示したが、ベネズエラ人の身分証明番号の登録が必要なので筆者は閲覧できない。また、アクセスが集中しており、閲覧しにくい状況が続いているという。

加えて、選挙専門家のエウヘニオ・マルティネス氏は自身のソーシャルメディアアカウントに以下の通り投稿している。

<マルティネス氏の投稿内容の翻訳>

MCM 氏は「野党陣営が73.5%の投票記録を保有している」と発表した。この記録の集計によると、エドムンド・ゴンサレスの当選が決定している。エドムンド・ゴンサレスとニコラス・マドゥロとの票差は350万票を超えている。

投票記録を独自に集計した結果、CNE が発表したゴンサレスの得票数は一部のみだった。CNE はゴンサレスの得票数を4,445,978票(44%)と発表した。独自に集計した記録では(ゴンサレス候補は)約67%を獲得していた。

投票記録の集計は、ゴンサレスが6,275,182票の有効票を獲得し、マドゥロが2,759,256票を獲得したとしている。この結果は残りの26.75%が集計できていない時点のものである。

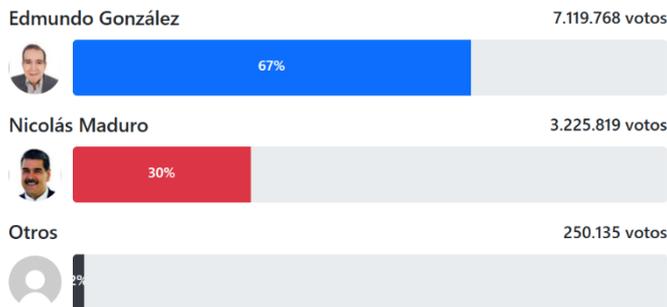
この集計の時点でゴンサレスの得票率は67%、マドゥロの得票率は29%となっている。

更に7月30日には、CNE に先立ち野党が独自の集計結果の詳細を公表している。

同発表によると、投票記録の開票率81.21%時点でゴンサレス候補が7,119,768票(67%)を獲得。マドゥロ大統領が3,225,819票(30%)を獲得しているという。

RESULTADOS - NACIONAL

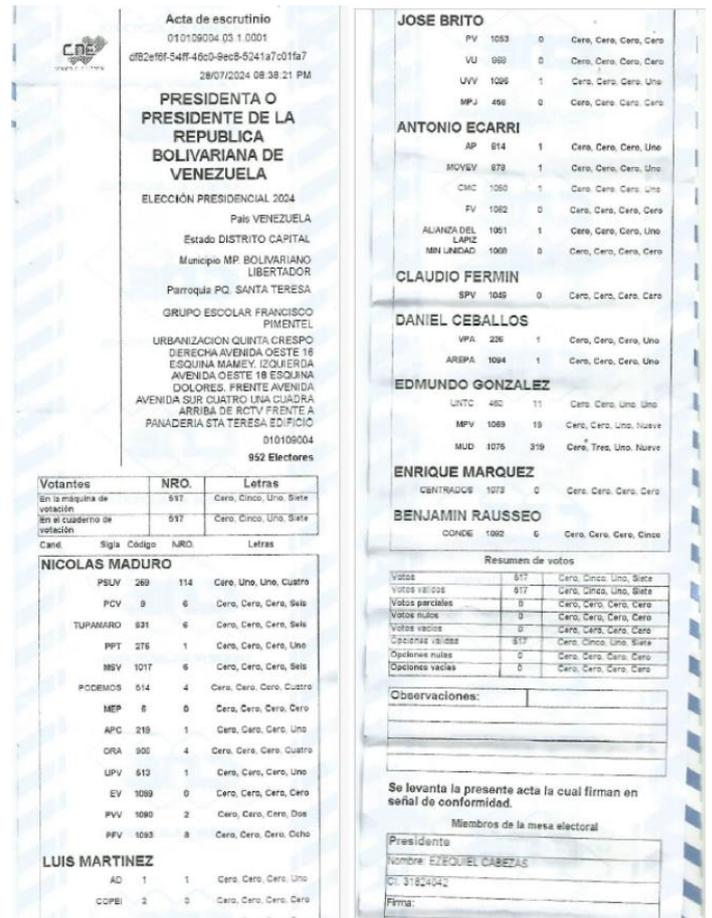
Actas digitalizadas: 24.384 (81,21%).



(写真) [Resultados CON VZLA](#)

“野党が公表する大統領選の投票結果”

また、ベネズエラ中央大学の研究者 Keymer Avila 氏は、Avila 氏自身が投票証人となった投票テーブルの集計結果とされる記録を公表している(下の写真)。この記録は、カラカス首都区リベルタドル市サンタ・テレサ地区の投票場の集計結果のようだ。



Acta de escrutinio
010109004 03 1.0001
df82e16f-54ff-46c0-9ec8-5241a7c01fa7
28/07/2024 08:38:21 PM

PRESIDENTA O PRESIDENTE DE LA REPUBLICA BOLIVARIANA DE VENEZUELA
ELECCIÓN PRESIDENCIAL 2024
País VENEZUELA
Estado DISTRITO CAPITAL
Municipio MP BOLIVARIANO LIBERTADOR
Parroquia PQ SANTA TERESA
GRUPO ESCOLAR FRANCISCO PIMENTEL
URBANIZACIÓN OLIVIA CRESPO DERECHA AVENIDA OESTE 16 ESQUINA MAMEY IZQUIERDA AVENIDA OESTE 18 ESQUINA DOLORS. FRENTE AVENIDA AVENIDA SUR CUATRO UNA CUADRA ARRIBA DE RCTV FRENTE A PANADERIA STA TERESA EDIFICIO 010109004
952 Electores

Partido	Votos	Porcentaje
PSUV	269	114
PCV	9	6
TUPAMARRO	831	6
PPT	276	1
MSV	1017	6
PODEMOS	514	4
MEP	8	8
APC	219	1
ORA	505	4
UPV	513	1
EV	1089	0
IPV	1089	2
IPV	1089	8
LUIS MARTINEZ	AD	1
COPEI	2	0
MR	1086	0

Resumen de votos

Categoría	Votos
Votos válidos	517
Votos nulos	0
Votos parciales	0
Votos vacíos	0
Opciones válidas	517
Opciones nulas	0
Opciones vacías	0

Observaciones:

Se levanta la presente acta la cual firman en señal de conformidad.

Miembros de la mesa electoral

Presidente
Nombre: EZEQUEL CABEZAS
C.I. 31824042
Firma:

この記録では、マドゥロ大統領の得票数は153票、ゴンサレス候補の得票数は409票(数字が読みにくく、359票かもしれない)となっており、ゴンサレス候補がマドゥロ大統領の得票数を上回っている。

他、大統領選に出馬していたエンリケ・マルケス候補は「一次速報を印刷した用紙は、証人の立会いの下で総集計を行うべき会場で印刷されなかった」「アモロン CNE 代表がどこで一次速報の用紙を印刷したのか不明」と訴えている。

これらの主張は、大衆がCNEの選挙結果に疑義を抱かせるのに十分な材料となっており、各地で抗議の意思を表明する「鍋叩き（カセロラソ）」や抗議行動が起きており、既に数名の死者が出ている。

多くの国が投票記録詳細の公表を要求

アルゼンチンは、即時に選挙結果を拒絶。

他にも多くの国が今回の選挙結果に疑念を表明。CNEに対して、選挙結果の信頼性を証明するために、投票記録の詳細を公表するよう要請している。

これらの要請に対して、マドゥロ政権は外交官の国外追放を行うなど強硬に対応している。

米国政府も選挙結果に疑念を表明したものの「投票記録が公開されるまで、認識の表明を保留する」と発表。

マドゥロ政権に追加で制裁を科す可能性について報じられているが、現時点では静観する姿勢を示している。

大統領選のサドンデス期間は実質2カ月

今回の騒動を終結させる手段は大きく分ければ4つだろう。

1つ目は「CNEが投票結果の詳細を公表し、選挙に関する疑念を晴らす」

2つ目は「CNE役員を総入れ替えして、大統領選をやり直す」

3つ目は「軍部・警察高官の離反グループがマドゥロ政権に反旗を翻し、マドゥロ大統領が拘束される、あるいは与党・CNEが方針変更を余儀なくされる」

4つ目は「マドゥロ政権が野党の抗議を抑え、選挙結果への疑念が払しょくしないままマドゥロ政権による実効支配が継続する」

平和的な着地点としては、1つ目のシナリオ「CNEが投票結果の詳細を公表し、選挙に関する疑念を晴らす」が最も望ましいが、個人的にはこのシナリオはハードルが高いと考えている。

CNEは、可能な範囲で集計結果を公表すると思われるが、疑いを完全に払しょくすることは難しい。

そもそも野党が全く別の集計結果を主張している時点で、CNE側の発表を国内外に信じさせることは至難の業と言える。

「外国の独立監査員が投票結果を精査する」が実現すれば、1つ目のシナリオが成り立つだろうが、外国の介入を拒絶するマドゥロ政権側が譲る可能性は低いと想像している。

2つ目の「CNE役員を総入れ替えして、大統領選をやり直す」も望ましいが、筆者はマドゥロ政権が大統領選のやり直しを受け入れるとは思えない。

そうなると、残る可能性は

「軍部・警察高官の離反グループがマドゥロ政権に反旗を翻し、マドゥロ大統領が拘束される、あるいは与党・CNEが方針変更を余儀なくされる」あるいは、

「マドゥロ政権が野党の抗議を抑え、選挙結果への疑念が払しょくしないままマドゥロ政権による実効支配が継続する」
となる。

少なくとも過去の経験からすると

「マドゥロ政権が野党の抗議を抑え、選挙結果への疑念が払しょくしないままマドゥロ政権による実効支配が継続する」のシナリオが現実的な印象。

もちろん、これはベネズエラの政治・経済・社会にとって望ましくないシナリオである。

3つ目のシナリオ「軍部・警察高官の離反グループがマドゥロ政権に反旗を翻し、マドゥロ大統領が拘束される、あるいは与党・CNE が方針変更を余儀なくされる」もあり得ないとは言えない。

ただし、成功する可能性は決して高くない。

少なくとも故チャベス元大統領の時代も含めて、クーデターが完全に成功した事例はない。

そして、失敗した場合には大きな犠牲が伴う危険な賭けである。

軍や警察を動かすためには野党支持者が抗議行動を続け、マドゥロ政権に圧力をかける必要があるが、国民の熱量は長くは続かない。

過去ベネズエラで起きた抗議行動を踏まえれば、3カ月が限界である。実際のところ2カ月を過ぎると惰性で続けている印象が否めない。

問題解決に時間を要すれば、4つ目のシナリオ「マドゥロ政権が野党の抗議を抑え、選挙結果への疑念が払しょくしないままマドゥロ政権による実効支配が継続する」の可能性が高くなる。

つまり、大統領選のサドンデス期間は、2カ月というのが個人的な認識だ。

以上